

第5波における年代別の
中等症II（酸素必要）・重症・
死亡の割合（%）
～札幌市と広島県～

国際医療福祉大学 医学部公衆衛生学
和田 耕治

第5波における年代別の中等症II(酸素必要)・重症・死亡の割合(%) 札幌市

年代	最も悪くなった重症度 (令和3年7月1日から9月21日の陽性者合計に占める人数割合) n=10,879				
	中等症II (酸素必要)	うち ワクチン 接種済	重症	うち ワクチン 接種済	死亡
10歳未満	0.3	0	0	0	0
10代	0.7	0	0	0	0
20代	1.4	0.03	0.03	0	0.03
30代	5.1	0.05	0.1	0	0
40代	9.8	0.1	0.6	0	0.06
50代	18.0	0.3	1.6	0	0
60代	21.2	1.1	3.3	0	0.9
70代	32.6	5.0	0.6	0	2.2

- ・目的: ワクチン接種の進行中であるが、第5波における年代別の中等症II(酸素を必要とした患者)と重症対応病床を必要(人工呼吸器管理など)と死亡の割合を示した。
- ・方法: 協力の得られた2自治体からデータを提供いただいた。札幌市: 9月27日時点。広島県: 9月20日時点。いずれも、2週間経過しているため、ほぼすべての事例について転帰が明らかとなっていることが想定される。なお、これらの自治体間の比較を意図するものではない。80歳以上の高齢者については、それぞれの年代の感染者数が100人以下と少なかったことから掲載しなかった。

結果の解釈における留意点

1) 接種実績

ワクチン接種の有無をデータに含めたが、一部に接種有の入力がVRSなどに反映されていない可能性がある。

札幌市

7月5日(月曜日)時点

1回目ワクチン接種者数 465,458人 接種率 26.0%

2回目ワクチン接種者数 246,690人 接種率 13.8%

9月21日(火曜日)時点

1回目ワクチン接種者数 1,177,257人 接種率 65.7%

2回目ワクチン接種者数 895,490人 接種率 50.0%

なお、ワクチン接種済で死亡は1名確認された。また重症者についても症例数が少ないため解釈には留意が必要である。

※「ワクチン接種済」=「1回目のワクチン接種から14日経過後または2回目接種済」

第5波における年代別の中等症II(酸素必要)・重症・死亡の割合(%) 広島県

年代	最も悪くなった重症度 (令和3年7月16日から9月6日の陽性者合計に占める人数割合) n=8,210				
	中等症II (酸素 必要)	うち ワクチン 接種済	重症	うち ワクチン 接種済	死亡
10歳未満	0	0	0	0	0
10代	0.3	0	0	0	0
20代	1.0	0	0	0	0
30代	4.6	0.4	0.4	0	0
40代	8.4	2.1	1.1	0.1	0.1
50代	16.3	2.9	2.5	0.4	0.1
60代	20.9	8.0	2.7	1.1	0.2
70代	16.5	3.4	1.7	0.6	2.3

※「ワクチン接種済」=1回又は2回接種した者(ただし、接種後の日数は考慮していない)

・結果の解釈における留意点(続き)

広島県

7月16日(金曜日)時点での接種実績

1回目ワクチン接種者数 881,135人 接種率 31.3%

2回目ワクチン接種者数 502,863人 接種率 17.9%

9月6日(月曜日)時点での接種実績

1回目ワクチン接種者数 1,554,713人 接種率 55.3%

2回目ワクチン接種者数 1,288,094人 接種率 45.8%

2) 分母は陽性患者と報告があった者の数である。実際には、受診をしていない患者が一定数いることは見込まれる。

広島県では、抗体検査での陽性者の結果との比較(令和3年1~2月に実施)により、実際の感染者は報告者数の1.2倍程度が想定されるという報告があった。

3) ワクチン接種済の定義は2自治体で異なっており、それぞれの表下に示した。

・結果の活用について

1) 自治体において、年代別の感染者数、年代別のワクチン接種者の割合、ワクチン接種の効果を検討することで必要な病床数や医療ニーズの検討の際に活用できる。

2) ワクチンの未接種者には重症化のリスクがあることを周知し、接種につなげるようなリスクコミュニケーションに活用できる。

3) ワクチン接種による重症化の予防効果を示す。